

開講年度	開講学期	開講学部等			
2016	前学期	工学部環境建設工学科			
科目ナンバリング	時間割番号	科目名[英文名]			
	15319	建設倫理 Ethics for Civil Engineers			
担当教員[ローマ字表記]					単位数
吉井 稔雄, 日向 博文, 門田 章宏, 倉内 慎也, 三宅 洋, 中畑 和之, 安原 英明, 渡辺 幸三, 木下 尚樹, 藤森 祥文, 全 邦 釘, 河合 慶有, 白柳 洋俊, 某 [YOSHII Toshio, HINATA Hirofumi, KADOTA Akihiro, KURAUCHI Shinya, MIYAKE Yo, NAKAHATA Kazuyuki, YASUHARA Hideaki, WATANABE kozo, KINOSHITA Naoki, FUJIMORI Yoshifumi, CHUN Pang-jo, KAWAAI Keiyu, SHIRAYANAGI Hirotochi]					2
授業科目区分	専門教育科目	対象学生	対象年次		3~

### 授業題目

建設倫理[Ethics for Civil Engineers]

### 授業のキーワード

専門職業人の倫理問題[Ethics for Careers], 建設業技術者の倫理課題[Ethics for Civil Engineers]

### 授業の目的

公共投資と建設業は、国民生活の安定と産業基盤の整備という崇高な使命のもとに営まれています。国民・社会からの批判も受けています。また、科学技術の発達に伴い、技術者の判断や行動の結果が一般国民に大きな影響を及ぼすようになってきました。この講義では、専門職としての技術者がどのような倫理問題に直面するのかわかり、事例をもとにして学びます。また倫理問題をどのように整理して、論理的に取り組んでいくべきかについての方法論を身につけます。その上で、公共事業や建設業に関する倫理問題を自ら発見し、自分が具体的な課題に直面したとき、如何に身を処すべきかについて、主体的に考察し、課題に対して実践的に取り組む姿勢を身につけます。

### 授業の到達目標

- (1) 技術者がどのような倫理的課題に直面するかを系統的に説明できる。
- (2) 技術者が直面する倫理的課題に関する基本的な考え方や分析方法を述べることができる。
- (3) 倫理課題に対する技術者の行動について、組織のなかでの役割を考慮したうえで注意すべき事項を述べるができる。
- (4) 技術者が直面する倫理課題について、自らの言葉で述べるができる。

### ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標) / 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

D. 自らが関係する技術の実践が人類の幸福や公共の利益に貢献できるかについて理性的・論理的判断を自律的に下すことができる能力。

### 愛媛大学学生として期待される能力(愛大学生コンピテンシー)に関わる項目

社会的関係の中で自分の行動を調整できる  
他者を理解し、他者のために役立つことができる  
集団・組織の一員として自覚と誇りをもって行動できる

### 授業概要

各講義では、多様な業界の技術者が直面する倫理問題の実例を取り上げ、事例を通して、技術者倫理について基本的な知識を得るべき主要な概念を獲得する。また、技術者が倫理問題に直面したとき、どのように問題を整理して、分析できるかについて、原則と体系化、分析手法などを理解し、習得する。あるいは、個人と組織との関係に焦点をあてて、組織の中の一員として、倫理問題にどのように対処すべきかを考える。

### 授業スケジュール

第1回 概説(技術者と倫理問題, 法と倫理, 利益相反)

第2-15回

- ・技術者の倫理問題を考える(技術者と公衆): 白柳助教
- ・建設技術者の倫理問題を考える(1): 日向教授
- ・建設技術者の倫理問題を考える(2): 門田准教授
- ・教育研究者の倫理問題を考える(1): 安原教授
- ・教育研究者の倫理問題を考える(2): 外部非常勤講師

- ・現実社会における倫理問題を考える(1)(スーパーゼネコン):外部非常勤講師
- ・現実社会における倫理問題を考える(2)(技術士の業務および義務・倫理要綱):外部非常勤講師
- ・現実社会における倫理問題を考える(3)(企業の研究開発の現場から):外部非常勤講師
- ・現実社会における倫理問題を考える(4)(途上国の環境と健康):渡辺准教授
- ・現実社会における倫理問題を考える(5)(水資源管理と倫理):藤森助教
- ・現実社会における倫理問題を考える(6)(建造物の点検・診断):全准教授
- ・現実社会における倫理問題を考える(7)(交通まちづくり):倉内准教授
- ・現実社会における倫理問題を考える(8)(社会基盤整備と環境倫理):三宅准教授
- ・現実社会における倫理問題を考える(9)(リスクベースの安全管理):河合助教

### 授業時間外学習にかかわる情報

各回の講義終了後に、各回の講義内容に関するレポートの提出を求めます。  
各回の講義内容をしっかり復習して下さい。

### 成績評価方法

出席回数が4/5に満たない者は成績評価の対象となりません。ただし、受講に際して事前に特段の事情を申し立て、認められた者は評価します。

各回の講義ではレポートの提出を課し、同レポートの点数を100点に換算して評価します。

### 受講条件

特にありません。

### 受講のルール

倫理の講義ですので、遅刻しての入室は認めません。  
講義開始5分前には着席して待機すること。  
また、学科共通のルールについても遵守して下さい。

### 教科書(購入の必要のある図書)

教科書1	書名	—			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

### 参考書(購入する必要はないが、推奨する図書)

参考書1	書名	—			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

### 教科書・参考書に関する補足情報

教科書は用いません。必要に応じてプリント等を配布します。

### オフィスアワー

水曜日の16:30-18:00

### Eメールアドレス

yoshii.toshio.mk@ehime-u.ac.jp

### 連絡先

工学部2号館324室

## 参照ホームページ

---

## その他

---

必修・選択 土木工学コース:必修, 社会デザインコース:必修

授業形態 講義

授業時間 講義15回×1.5時間/回=22.5

### シラバスの改善点

2010年度

授業担当教員が変わりました。

2011年度

現実社会における倫理問題について、外部講師を招聘して講義して頂くこととしました。  
各回講義時に実施していたミニレポートを小テストに変更して実施することとしました。

2012年度

現実社会における倫理問題について、外部講師の講義を追加しました。

2013年度

現実社会における倫理問題について、外部講師の講義時間を増やしました。

2014年度

授業アンケートの結果、特に改善要求がなかったため特に改善点はありません。

2015年度

外部講師による講義時間を1時間削減し、コンプライアンスに関して講義する時間を設けました。

2016年度

授業の内容を見直しました。期末試験を廃止し、レポートによる成績評価へと変更しました。

### 授業の改善点

2010年度

講義の冒頭に前回講義内容を復習する時間を設けました。

2011年度

講義の冒頭で前回講義内容をチェックする小テストを実施することになりました。

2012年度

外部講師による講義時間を増やしました。

2013年度

読書の課題を追加しました。

2014年度

受講生の要求に応じて授業を改善します。

2015年度

アンケートの結果、予習復習の時間が十分ではありませんでしたので、レポート課題を追加します。

2016年度

技術者が直面する倫理問題の実例紹介を増やします。